

北海道美瑛町：日本で最も美しい村「美瑛ゼロカーボントウン」事業計画



事業計画の特徴

- ・ 美瑛川流域の豊富な水量を活用し、小水力発電設備を導入する。確実な事業実施に向けて、**エア・ウォーター北海道(株)および(株)森とみずのちからと連携**し、令和6年度から2つの河川の流量観測を実施している。令和8年度までに特別目的会社を立ち上げて、適切な設備規模や導入方式の採用を図る。
- ・ 個人向け補助について、太陽光と蓄電池の**セット導入を条件**にすることや**上乗せ協調補助（10千円/kW）**を行うことで推進を図る。
- ・ 事業者向け補助について、室蘭工業大学などと連携し**農業残渣ボイラー導入を支援**。廃棄予定のもみ殻（3t/年）を有効活用し、脱炭素化を図る。加えて、燃烧後のバイオ炭を肥料や土壌改良剤として有効活用し、**循環型農業を確立**する。

※2030年までに公共・公用施設の電力消費に伴うCO2排出を実質ゼロとする。

事業計画の概要（民間）

再エネ：675kW

取組（個人）	規模
太陽光発電設備の導入	75件 675kW
蓄電池設備の導入	75件 750kWh
熱利用設備（薪・ペレットストーブ等）の導入	30件
取組（事業者）	規模
農業残渣バイオマスボイラーの導入	40件

事業計画の概要（公共）

再エネ：952kW

取組	規模
未利用地への垂直型太陽光発電設備の導入（PPA）	1カ所 525kW
美瑛川への小水力発電設備の導入（PPA）	1カ所 427kW
庁舎へのEVカーシェアの導入	2件

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	事業費	交付金額	計画期間
1,627kW	157,341 t-CO2	13.7億円	8.3億円	令和7年度 ～ 令和12年度

取組のイメージ



小水力発電導入（取水）予定地



導入予定の農業残渣ボイラー